

岩手県立宮古高等学校版タイムライン(～台風(大雨)を想定して～)

タイムライン	気象庁・盛岡地方気象台 ◇岩手河川国道事務所	岩手県・市町村・教育委員会	学校の対応	家庭・地域
-120hr	○台風情報、警報級の可能性		○テレビやラジオ及びインターネット等による気象・河川・交通情報等の確認	○テレビやラジオ及びインターネット等による気象・河川・交通情報等の確認 ○避難場所、避難ルート、連絡方法 非常用品確認
-72hr	○台風に関する岩手県気象情報			
-48hr	○台風に関する記者会見(気象庁)			
-24hr	○台風に関する説明会 (盛岡地方気象台、HPIにて資料公開)	○岩手県災害警戒本部設置(県) ○市町村災害警戒本部設置(市町村)	○学校防災本部等の設置 校内における災害対応の方針確認	
-12hr	○大雨・洪水注意報	○指定避難所開設準備(市町村)	○保護者への文書配布 ●対応の見通し(休校の判断等) ●注意喚起(川・海に近づかない等) ●避難時の必要事項(避難場所避難ルート 連絡方法 非常用品等) ●自宅周辺が危険な場合、自主的に判断することの確認 等 ○近隣学校との対応確認(一中、水産、商業)	
数時間～-2hr	○大雨・洪水警報	○岩手県災害特別警戒本部設置(県) ○岩手県災害対策本部設置(県) ○市町村災害対策本部設置(市町村) ○避難準備・高齢者等避難開始発令(市町村)	休校措置の判断基準 気象情報(盛岡地方気象台)で、警報級の可能性が発表されたり、1時間の雨量で50mm、24時間雨量で150mmを超えると予想された場合。 休校措置をとる場合 前日から当日午前6時までの間に電話及び一斉メール等で保護者に連絡する。 登校後に保護者に引き渡す場合 ●近隣学校と協議～一斉メールで保護者に迎えを依頼し引き渡す。(近隣学校と時間をそろえる) メール非加入の保護者には電話で対応。 ※氾濫、土砂災害等の危険が迫っている場合は保護者に引き渡さない場合もある。 学校から配布されている「地震・津波の際の危機管理対応について」に基づいた対応を行う。 ○自宅が遠い教職員に退庁を指示 ※氾濫の危険が迫っている場合は学校に留まる指示をする場合もある。 ○教育委員会に災害対応を報告 ○関係者に災害対応を連絡(市町村、宮古警察署、宮古消防署、医療機関、北上ビルメン)	○自宅近辺で浸水等のおそれがある場合、家庭の自主判断による安全確保(自宅もしくは避難所) ○学校からの電話及びメール等を確認 ○子どもへの声かけ(外出は控える 川・海に近づかない等) ○学校にお迎え ※氾濫、土砂災害等の危険が迫っている場合は迎えに行かない 学校から配布されている「地震・津波の際の危機管理対応について」に基づいた対応をお願いします。
0hr	○土砂災害警戒情報(県と共同発表) ○記録的短時間大雨情報	○避難勧告発令(市町村)	○テレビやラジオ及びインターネット等による気象・河川・交通情報等の確認 ○消防署からの情報収集 ○災害対応・被害の実際等を時系列で記録 ○学校内外の被害確認 ○地域・近隣の学校との情報共有 ○教育委員会に被害報告	地域との連携 ●役場・支所 ●自主防災組織 ●消防団 ●駐在所
	◇避難判断水位 ◇氾濫危険水位	○避難指示(緊急)発令(市町村)		○休校措置後、下校後、家庭において安全確保(避難) ○家庭の安否の状況の確認
	○大雨特別警報			○NTT災害伝言ダイヤル(171)への伝言依頼
	氾濫発生			
+12hr	大規模災害の発生			
+72hr	○警報の継続/解除		生徒の安否確認・登校・休校等は、以下のいずれかの方法で連絡する。 1. 停電でない場合 ●学校から一斉メール(非加入者は電話)で連絡 →保護者は電話で安否・居場所を報告 2. 停電で電話がつかない場合 ●校門、各公民館等へ連絡事項の掲示(名簿の準備)→保護者は確認し、安否状況を名簿に記載 ●NTT災害伝言ダイヤル(171)で伝言を登録	